

問

財政健全化を計る実質公債費比率は、25%以上が危険域。破綻した夕張市が38%、大山町は16%、国は破綻域の80%以上。財政運営はますます厳しくなる。



西尾寿博議員

合併して見えてきたこと

今後も効率的な行政運営を図る

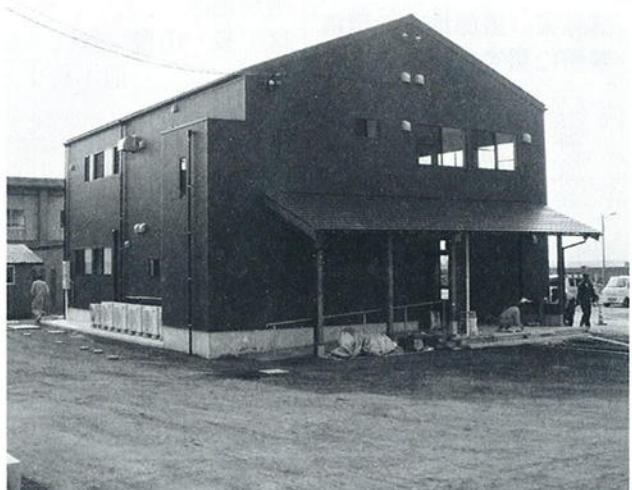
- (1) 合併して早、4年目、似て非なる3町の合併で見えてきたこと、感じていることは。
- (2) 水道料金は、段階的に揃えるというがどのようにやるのか。
- (3) 「大山恵みの里づくり計画」の進捗は、町長の想いと合致しているか。
- (4) 職員の削減、機構改革、指定管理者への業務委託等、積極的に行革を推進されたがその弊害はなかつたか。

一番の行革は、職員のやる気を引き出すことだと思うが。

答

(山口町長)

- (1) それぞれ旧町の歴史・文化・伝統を継承し、元氣で幸せに暮らしていく町を目指す。
- (2) 検討委員会での方向性に沿って、理解を得ながら進めていく。
- (3) 観光交流拠点は、来年3月中旬にオープンし、4月から名所旧跡のPR。また、御来屋漁港直販



11月9日オープンの御来屋漁港水産物直売所

問

来年春に行われる予定の首長選挙に出馬し、引き続き町政を担当する意志の有無について質す。

旧名和町時代から通算3期10年間、多くの実績を残し、新町においても教育、医療、福祉を始め

所との連携を図る。このからの地方自治は、地方分権の時代を迎えて中、厳しい行政運営が続いている。しかしながら、これから求められる

地方自治とは町長や、議員、職員の力だけではなく、やはり住民の力が大きいと思う。その力の差が町の活力の差に繋がる時代ではなかろうかと思う。その力を引き出し、共に町づくりに取り組む事、またそういう体制を構築していくことが私どもの使命である。その先頭に立ち、引き続きその役を担うことは、重大な役割である。

質問に答える山口町長

答

(山口町長)

私は1人で判断できることではないと思っている。これから支持、支援者や、多くの皆さんとの意見を聞きながら判断したい。



小原力三議員

首長選挙の取組は支援者の意見を聞いて判断する

行政改革の最中である。

地方分権の時代を迎えて中、厳しい行政運営が続いている。しかしながら、これから求められる



地方自治とは町長や、議員、職員の力だけではなく、やはり住民の力が大きいと思う。その力の差が町の活力の差に繋がる時代ではなかろうかと思う。その力を引き出し、共に町づくりに取り組む事、またそういう体制を構築していくことが私どもの使命である。その先頭に立ち、引き続きその役を担うことは、重大な役割である。

私は1人で判断できることではないと思っている。これから支持、支援者や、多くの皆さんとの意見を聞きながら判断したい。